京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

發行兼編輯人 [illegible]
印刷人 [illegible]
發行所 京城新報社
東京支局

温突迷語録（三）

歪の權太

◎一月元旦と天長節との二大祝日を引き去つた殘り三百六十何日雨の日も風の日も百十餘臺の常備馬車と五百餘名の人夫を使役して何時もセッセと忙はしげにやり詰めて居る一大事業がある之れは云ふまでも無く漢城衛生會の除糞事業であるが今其馬車の部別けをして見ると糞尿の部が七十臺、殘り四十臺が塵芥であるが然して糞尿馬車の運搬回數は遠近を平均した處で凡五回宛と云ふ事でから一日の運搬總數が三百五十臺となるわけで更に其馬車一臺に積込む二十個の糞桶を一個の重量七貫目として計算すると一日の運搬高即ち市内一日の糞尿製造高が驚く勿れだ實に四萬九千貫の多きに達する猶ほ其他に近在から汲み取りに出て來る糞車もあり又例の朝鮮人一流の垂れ流しも莫大のものであるから此等を加算すると優に五萬貫以上に達するであらう然して之れを桝目に換算すると一千二百五十石餘りになるが之れが市内一日の糞尿排泄高であるから先づ以て盛んなりと云ふ可きであらう。

●セブランス病院の現狀

人類救贖の爲め神の子キリストがカルバリ山上十字の露と消ねてより千九百餘年彼の教へは地の四極に達して未開の蒼生も眞理の光照を受くるに到つた此の福音の宣傳者等が布教の第一歩として諸種の慈善事業を企つる其の重なるものは學校經營と病院の開設である京城南大門外に米國プレスビテイリアン派に屬する慈善病院がある一日刺を通じて院長エビソン氏を訪ふ同氏差閊へありて附屬醫學校の教授兼用氏代つて語るらく本院はセブランス病院と呼び十八年前黄金町元博覽會場跡に建てられたセブランスとは米國人にして病院開設に際し其の費用を喜捨したるより其を記念すべく命名したるものにて現在の場所に轉じたるは七年前のことなり開設當時は宣教師中の醫師以外は五六の鮮人醫を以て診察せしめたるも完全なる教育を受けたる者に非ざれば誤診等のあるを免かれず遂に五年前即ち明治三十九年より醫書を朝鮮語に譯して病院附屬醫學校を設けたり而して昨年六月第一回卒業生七名を出だし當院に勤務する者三名地方病院に勤務する者四名あり續いて本年六月第二回卒業者六名あり内四名は當院に在り修業年限は四ケ年にして得業士の稱號を與へ尚一ケ年實地並びに學理を研究したる者に醫學士の稱號を與ふ教授は宣教師中の醫師及び當校出身者任に當り現在の生徒は總數六十名月謝として僅かに一圓五十錢を徴收するのみ書籍等は一切貸與し居れり來春二月初旬竣功の豫定にて建築中なる通りに面する五層の煉瓦造は醫學校の校舍なり現在使用せる二階が病室にて目下二十餘名の入院患者あり他に外來患者の數も尠なからず入院料及び藥料は支辨し得る者は實費を徴收し資力無き者は施療しつゝあり患者は信者のみに限らず一般鮮人をも診療しつゝあり經費は收入として百分の一にも足らず悉く云々と聽き了つてキリストの廣大無邊なる愛は荒びたる吾靈を包擁するが如くに感ぜられ思はず空を仰げば屋上の十字架燦として四邊を照す（一記者）

外事一束

▲帝國 王黨漢傑に武器を購ひ大に謀ることあらんとする計劃失敗に歸す
▲何者 の惡戯ぞ戴冠式擧行の爲印度に行幸中の英帝暗殺せらるとの報英都
▲倫敦 に達し各新聞社は諸方よりの問合に忙殺され市中騷動ふる物なし
▲印度 總督としてコンノート殿下就任さるべしとの風説は公式に否定さる
▲英帝 及皇后陛下は印度新首都デリーの最初の礎石を安置せられたりと云
▲獨逸 政府は舊教僧侶を普通裁判所の裁判に附すべからずとの羅馬法王の
▲宣言 は獨逸國内には適用せざることを口頭又は文書を以て國内に通達す
▲鳥港 の日本領事館電線より失火し居留民の力に依り半燒にて鎭火せりと
▲海上 私法を國際法に應用する件に關し各國近くブラッセルに會議を開く

●新刊紹介

△實行の世界 澁澤男の『日本の實業家』も此の如き確固たる目的を持つて勤け』は蓋し之れ男の實驗より來れるもの言々字々後進の戒めとなすべし支那の革命が日本の國体に及ぼす影響は時節柄好讀物なり（一部十一錢東京芝區愛宕町實業之世界社）
▲臨牀月報 醫學上に關する記事のみを以て埋む斯學に志すもの丶參考たるは言ふ迄もなし（一部八錢濟市增町臨牀月報社）
▲俳味 號を追ふに從つて体裁整備す記事多様讀むからに三昧に入るの感あり（一部十二錢東京本郷區駒込西片町俳味社）
▲日本青年 見るからに青年の元氣を鼓舞する文字のみを收む林田龜太郎氏の『余の天運主義』極めて面白し（一部十五錢東京本郷區森川町大日本青年中學會）

新年和歌募集



勅題「松上鶴」　選者 九皐館去留

一、一人にて何首にても宜敷、用紙用箋は御随意の事、但投詠者は住所氏名御明記の事
一、締切期限來る十二月二十五日
一、發表は四十五年一月元旦の本紙上を以てす

右は例年の通り勅題和歌募集致候に付同好の御方は挙つて御投詠あらんことを

京城新報編輯局

文苑

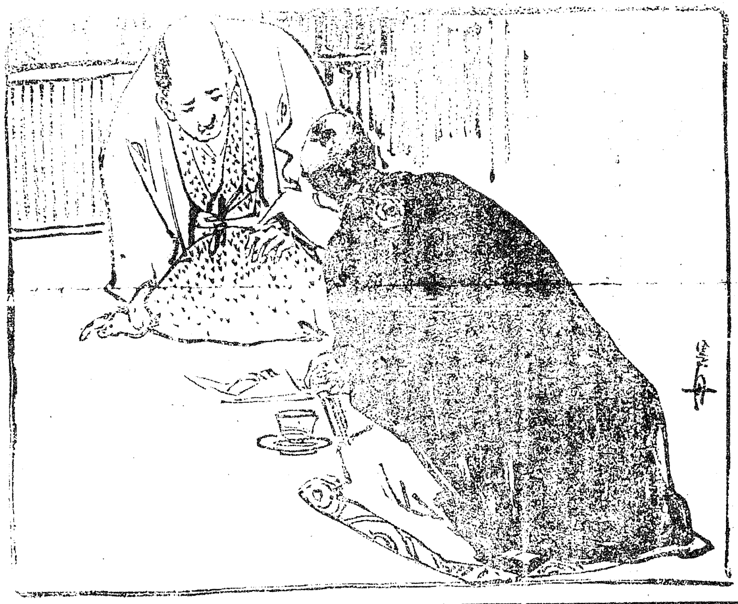
●折にふれて　松琴生

萬物は眠りに入りて一年の疲れ休むる冬の天地
○
冬の朝生息氷りし硝子窓寒げに來鳴く庭の小雀
○
たま〳〵に君に遇ひたる嬉しさを日記のはしに秘めて書きたる
○
君の脣思ひ出だしてひとり笑む清くさびしき水仙の花
○
黒ずみし面わさびしき若き子の白菜賣りゆく朝寒の街

梁川庄八

第六十一回　小金井蘆洲演

此傳三郎は仙臺荒町に住居をなし、國主の御用達をして居りまして、家などはなか〳〵立派な構へで御座ります、そこで齋藤外記は或日傳三郎方に參つて　外『扨傳三郎拙者は此度主命に依て梁川庄八を召捕に向ふに就ては、姿を變へて行かなければならぬ、貴樣の子分だと云つて歩けば、國々の關所を手形なしに通れるから、爾う云ふ事に致したい、併し只熊野傳三郎の子分とばかりで、何も知らんでは不都合であるから、香藥の煉方と傳三郎の由緒書とを拙者に呉れまい』か主命を帶びて行くと云ふのですから、固より否む譯には行きませぬ　傳『委細承りました夫さへあれば國々を往來するには、至極便利で御座います、又一箇國に一人宛、の香具師の元締がありますから、其名前も點て差上げませう、私の子分だと云ふ證據さへ持て居れば、何處へ出になりても懇に執持て呉れますから、夫から夫へと渡つて歩くには至極妙です、是れは渡世の鑑札是れは由緒書、是れは香藥の煉方の傳授書、之を持てお歩きなさる以上は、大小を差して居ても決して差支へはございません　外『いや併し香藥賣が大小を手挾んで歩くは餘り仰々敷く寸及物一本で澤山ぢや』其時分に平民の差料は寸及物と云て、一尺七寸五分までは許してあるが、夫から上は許さない、二尺となれば刀と稱へ、是れは平民には挾すことを許さなかつたのでございますで、外記は寸及物が宜からうと云ので、筑前隊岐の國の住人左文字の刀で、長さ一尺九寸五分寸及物ではあるが、是れは齋藤外記が秘藏の刀でございます、夫を腰に帶びて名をば才助と改め、熊野傳三郎の子分らしき姿をして、先づ志す處は江戸表黄金花咲く陸奥を出立致しまして、遥々鳥が啼く武藏の江戸に到着致しました



廣告

東京電報

▲四列國調停説

清國動亂の永引くに於ては列國互に其の損害を等しくするを以て日英兩國主として媾和の調停を爲すに一決したるが米露獨佛も日英と協同斡旋に贊同を表し共に盡力し度き旨申出たる由にて愈々上海に於て不日媾和談判開始せらるるに於ては米露獨佛の四國も亦談判に加はることゝなる可し

▲清國事變奏上

石本陸軍大臣は十八日前十時三十分參內侍從長を經て天皇陛下に清國の時局に關し委曲奏上する處ありたり

▲後藤新平男の來鮮

後藤新平男は猶友會員と共に明春早々來鮮する事に決定せり

▲第二回選擧法委員會

衆議院議員選擧法改正第二回調査委員會は十八日午前十時開會原內相並に水野地方局長の解答あり滿場一致質問終了に決し次回は來る二十五日午前十時より開會大体の方針を決し更に二十八日第四回を開催したる上確定する事に決したり

北京特電

▲北京政府と公債

北京 政府は軍備に充つるため三千萬元の愛國公債を發行し皇族大官等必ず之に應ずるの義務あるものと定む

▲國庫空虛と借入

度支部大臣は國庫空虛にして外債覺束なきを以て袁總理と商議し天津の某富豪より金數萬圓を借入れ急需に應ぜんとし不日其の運びに至るべしと

▲三派暗鬪の結果

北京 宮廷內は慶親王派澤公派洵親王派の三潮流あり此の三派は相互に非常に亂轢を爲し遂に清廷を脆弱ならしめしは要するに三派の暗鬪の結果に外ならざるべしと

▲端方殺害さる

四川總督端方及び其の弟端岑は泗州に於て護衞兵の爲めに殺害せらる

上海特電

▲媾和條件內容

唐紹怡の齎せる媾和條件の內容は左の如し

一、大清國を中華聯邦共和國と改稱す
二、大清國皇帝を中華聯邦共和國王と改稱す
三、各省を中華聯邦と爲し國王は共和政府の總指揮に任じ蒙古青海西藏を其の範圍に入る
四、上下兩院は共和國王之れを統裁す
五、大總統を公選し行政官を設くるは國王及大總統統裁法は國會之れを決議す
六、滿蒙漢の特權[illegible]權能は總て大總[illegible]上特別の地位に[illegible]得す
七、滿漢人の權利[illegible]
八、國王は世襲に[illegible]と爲す國王及大[illegible]等と爲す
九、國王は隨意に[illegible]も家臣は政治に[illegible]
十、國王は萬世[illegible]其の家族に危害[illegible]は死刑に處す
十一、大總統以外[illegible]す國王及大總統[illegible]受く
十二、國王の敵[illegible]元首大總統も之[illegible]
十三、國會は立[illegible]國王も關與す[illegible]は獨立す
十四、宣戰媾和[illegible]布は大總統の權[illegible]の權限に關する[illegible]同意を要す
十五、憲法の改[illegible]り其他は贊政院[illegible]す

▲孫の軍事指揮官

孫逸仙は上海着後革[illegible]るべし

▲南京の守備

程德全は南京都督となりたる[illegible]頓したり其の警[illegible]清里の烏龍嶺砲[illegible]三十名、北門外[illegible]門、守兵百二十[illegible]砲臺に砲八門守[illegible]鷄山砲臺に砲六[illegible]門內義州山砲臺[illegible]集賢門內雨花臺[illegible]名配置せり

▲松井參事官上海へ

松井參事官は十九日上海に到着したり

雜報

●雲山の伐木眞相

ウイルヘプン氏の不履行 雲山組契約の不履行

昨本紙掲載雲山鑛山[illegible]伐なる記事に付き[illegible]ろに因れば始め雲[illegible]材を鮮人より買入[illegible]二三邦人等が雲山[illegible]同金鑛の支配人ウ[illegible]人なるを利用し自[illegible]那威人を雇用し同[illegible]ン氏に對し新材供[illegible]首尾克く成功して[illegible]茲に於て雲山組は[illegible]い說くに伐木及び[illegible]督府より自家へ特[illegible]以てし從來金鑛に[illegible]て直接新材の供給[illegible]等より時價以下に[illegible]込み巨利を獲んと[illegible]もさるもの、決し[illegible]給に關しボイコッ[illegible]斯なるに至り該組[illegible]ず無餘儀も鮮人に[illegible]者を雇入れ伐木に[illegible]にせん高給なる邦[illegible]は價格に於て到底[illegible]は金鑛に對し供給[illegible]能はざるに到り遂[illegible]ルヘプン氏に對し[illegible]し氏の承諾を得て[illegible]として業務を廢す[illegible]なるは雲山金鑛に[illegible]人なる爲め雲山組[illegible]運動を受け新材買[illegible]も前記の如く該組[illegible]至りたる結果亦々[illegible]材を買入るべく餘[illegible]足許を附込まれて[illegible]いつゝあるなり

●都會と土地調査

既[illegible]調査に就ては昨年[illegible]所聯合會より其の[illegible]如く其の地方の事[illegible]り人口の稀薄にし[illegible]て商工業の發達せ[illegible]にし最も利害關係[illegible]附近又は土地經營[illegible]にせざるべからざ[illegible]未だ之れが實行を[illegible]帳の不整備より證[illegible]す一源因となり居[illegible]の探聞するところ[illegible]ては本春土地調査[illegible]建議の如く京城及[illegible]地調査の一日も早[illegible]し請願せしに最初は[illegible]諒し本年九月頃よ[illegible]自答へたりしも其[illegible]會の調査は極めて[illegible]査を要し且又都會[illegible]練に俟たざるべか[illegible]調査を終り同時に調[illegible]後愼重に調査する[illegible]き將來に於て其の[illegible]を得ずといふにあ[illegible]方針にして事實と[illegible]も其の効なく京城[illegible]地調査は今のとこ[illegible]得て知る能はずと

●製鹽移輸入額

專賣[illegible]月より同十月末日[illegible]清國其他より朝鮮[illegible]鹽額左の如し[illegible]五千〇五十二斤五萬[illegible]臺灣五百五十萬斤[illegible]圓、清國天日一億[illegible]六百七十斤三十八萬[illegible]再製鹽十五萬六千[illegible]圓、米國百九十五[illegible]獨逸一萬七千三百七十五斤二百六十二圓、露國二萬一千七斤三百十三圓

●鑛産額の增加

朝鮮の鑛産額は年々增加しつゝあるが四十年以來の統計を見るに其總額四十年は二百六十三萬三千百三圓四十一年は四百二十一萬八千五百五十一圓四十二年は五百十五萬七千二百十圓四十三年は六百十萬六千七十七圓なりと云ふ

●漁業組合規則審議

漁業組合規則は既に脫稿し參事官會議に付する事となり居れるが尙審議の要あり農商工部內にて審議すべしと云ふ

●官有財産委員會

二十日午前十時より總督府會議室に於て官有財產調査委員會を開き兒玉會計局長齋藤山林課長久芳度支部庶務課長工藤營繕課長以下十餘名の各委員列席の上協議し正午散會したりと

●平壌鑛業所の擴張

平壌鑛業所は本年は水害のため多少の障碍を受け豫定の數量を得ること能はざりしが其後復舊工事を終りて損害を恢復したりといふ而して其運搬は兼二浦より積出し居たるも本月より鎭南浦より船積する事となり非常の便利を得たるにつき來年度より十一萬噸を採掘すべく之れが擴張計畫は來年度の豫算に計上したりと

●派遣新兵の來鮮

既記の如く去る十一日仙臺驛を發したる朝鮮派遣特科隊約五百名は十三日青森を解纜し航行五十時間にて十六日正午無事清津に着したりと

●大毎特派員送迎會

既報大阪毎日新聞特派員の送迎會を兼ね京城記者團にては廿日午後五時より花月に於て盛大なる忘年會を催したり

●全南の米穀物不足

例年今頃は各地とも穀物の出廻季節にして全羅南道靈巖地方にては昨年の今頃は籾四千八百三十石の取引ありしに本年は僅かに四百八十余石を廻送したるに過ぎず故に農家以外の者は精米の缺乏を感じ居るが其原因は今春來同地方の人民は土地を賣却し約十五萬圓を得たる事其一税を地主に於て納入すること其二來春其の季節に於ける米價の騰貴を見越して賣却を見合すこと其三農家は收穫期に於て穀物を濫賣せずとも金融組合に米穀を擔保として金を借入るゝことの有利なるを知しめたること等なりと

●大豆出廻り狀況

昨今京城市場に於ける大豆の出廻り狀況を聞くに本年は漢江流域地方の大豆作一般に不作なりし爲め所謂川邊大豆の出廻りも至つて少く未だ三萬俵內外の出荷ありしのみにて例年に比し二萬俵の減少を見價額は驛渡し七圓四十錢前後にて稍々高値なりといふ

●盈德の漁業好況

慶北盈德郡に於ける十一月中の漁獲高の重なるものは鰈三千六百圓鯖二百八十圓鰈百六十圓大刀魚百二十圓河豚二十圓等にして漁獲總額二萬七千五百圓(四千二百八十尾)なりと云ふ

●工藤氏結婚披露

當地婦人科病院主ドクトル工藤武城氏は今回石田ユリ子孃と結婚したるに付其披露の宴を十九日夜ソンタクホテルに於て開けり當夜招待を受けて出席したる內外の紳士淑女其數九十餘名宴半ばにしてクルーゲル獨逸總領事及び古城民長の卓上祝詞あり終つて一同杯を擧げ工藤氏夫妻の健康を祝し散會したるは十時なりし

取引所設立贊否意見(三)

▲木村鮮銀理事 曰く元來取引所なるものは利害相半ばするものではあるが京城の如き地に在つては利益を享くると云ふよりも寧ろ弊害の方が多くはなからうかと思はれる併し未だ出願書の內容を見ないのであるから確たることは言ひ得ないが取引所の利害問題の如き東京に於てすら議論のある問題であるから今之れを空漠に論ずるに於ては極めて有害であると稱せなければならぬ蓋し眞面目なる商人をして投機的傾向を帶ひさせるからである

▲久能漢湖農工支配人 曰く取引所の設立に關しては之れに隨伴する利害共に甚だ多かるべく其の弊害方面をのみ觀取する論者に向早不可等の唱導せらるゝも決して理由なきに非ず其の甚だしきに至ると昨今日本內地に於ける商人等の氣風が眞面目なる勞力に依り利純を獲得する等の念は毫頭も之れを有せず只管投機的觀念に依つて巨利を博せんと焦慮し或は來年七月頃に至りて需用さるべき商品の仕入を昨今既に之れを爲す等取引所以上の投機を敢てするに至つたのは是れ一に取引所なるものが彼等に與へた惡感化であるから此際內地に於ける取引所の悉くを廢して以て內地商人等を堅實なる氣風に歸らしめよとさへ叫ぶ者もある其他取引所其物の利害には世既に定論あり弊害も定めし多からうが弊害の方面より而已事物を觀察しては際限がない又た其の事實か否かは保證の限りではないが曾て彼の品川彌次郎子の主務大臣時代に越中富山から取引所設立を出願したことがあつたが品川子は取引所の如き公開賭博の設立は以ての外だと許可しなかつたのを時の書記官某が該地方は賭博の盛に行はれ其取締に困難を感ずる位の土地であるから寧ろ公開の賭博場たる取引所を許可して一般の賭博を嚴重に取締る方便としたらとの意見を具申した爲めに其の設立を許可するに至つたと云ふ話もある此等は寧ろ取引所を其の弊害方面から觀察したものであるが尙ほ之れを必要とする理由も認めて得る興味ある話柄である朝鮮の如きは元來極めて賭博の流行する地で寧ろ取引所を設立せしめて一般の賭博を嚴禁した方が策の得たものではあるまいか即ち朝鮮に取引所を設立するは益々其の射倖心を煽動する害ありと稱するは恰も公許の遊廓をも廢して密淫賣を嚴禁すべしと論ずるが如きと同轍で到底行ふべからざるの愚論である更に他方面即ち利益方面から京城に取引所を設立するの不可ならざる所以を述ぶれば現在朝鮮內に一箇所も取引所存せずとすれば兎に角既に仁川に於て其の設立を許可されある以上は京城に於て其の設立の必要なしと稱する理由はない全半島を通じ唯一ヶ所仁川のみに取引所を許可せるに於ては時に或は買占め等人爲的に相場を變動することなしとは云ひ得ぬ則ち斯る弊害に對する防禦策としても京城取引所設立は時宜に適したものと思惟せざるを得ない(此稿つゞく)

●迎日灣本年の漁業

迎日灣附近は目下鰊漁期に際會したることゝて昨年の大漁に據り本年漁業者の集來したる者夥しく內地人のみにても百組以上を算し鮮人漁業者と合せて鰊網敷數百壘に達する盛況にして同地方の景氣に頗る好影響を及ぼし居る由又斗湖洞汝南洞附近は漁業者の居宅に欠乏を告げ居る有樣なりと

●韓國漁業會社調査

韓國漁業會社にては來る二十四日臨時總會を開き二百萬圓の資本を百五十萬圓に低減する筈なるが同社にては今回新浦に出張所を設け更らに東海岸の沿海に於ける漁業上の調査を爲す筈にて總督府及び咸南道廳に交渉を爲すべく既に其調査の方案も出來し居る由なり

●鮮人側の商況

朝鮮人向き雜貨の賣れ行き狀態は未だ冬物の季節に入らざる九十兩月に於て既に買入れたる向きもあり殊に朝鮮は本年閏年にて氣候は例年より一ヶ月遲れたれば十一月中の商況は不振なりしが本月に入りて漸く活氣を帶び來たりたり相場は昨年に比し概して五分高なるが從來タオルを襟卷に使用せる連中が英製牛毛皮又は綿毛等を用ふるに至り趣好も一般向上しつゝあり而して朝鮮に於ける節季には未だ六十日餘の日數あれば恩賜公債下賜にて潤ふへると地方民が大豆雜穀等を賣惜みつゝある傾向あれば購買季等も例年より長く本月末より二月中旬に至るまで活潑なる商況を見るならんと

●工業傳習所卒業生

廿二日卒業式を擧行する工業傳習所の第四回卒業生は總計四十三名にして內本科三十五名專攻科八名なりと而して卒業生は概ね各會社又は當業者に雇用さるべしといふ

●元山水力電氣事業

元山の水力電氣會社は五十萬圓三千株を以て成立せるが其豫約申込に於て應募超過となり居るを以て案分比例に依りて割當を爲すべしといふ

●十一月中の捕鯨高

東洋捕鯨會社の江原道通川郡に於ける十一月中の捕獲鯨數は十八頭なりと云ふ

●鐵管埋桝の終了期

南大門通道路改築の爲め過般來瓦斯及水道の鐵管埋桝中の處來る二十五日全部終了の筈なり

●名刺交換會締切日

京城名刺交換會の申込者未だ百名に達せざるも日々申込あり締切廿五日迄には意外の數に上るべしといふ

●藤田醫院長の消息

去月下旬全道に於ける慈惠病院視察のため出張したる藤田總督府醫院長は一兩日の中に大邱にいたる筈なるが同地の有志は盛んなる歡迎會を開くべしといふ

●明石少將總督出迎

明石憲兵司令官は廿一日午前九時南大門發寺內總督を釜山迄出迎ふべしといふ

●藤波通譯官の出迎

藤波通譯官は十九日午後十時發の列車にて寺內總督出迎のため釜山に赴けり

●愛婦本部の新年會

愛國婦人會朝鮮本部職員會員は例年の通り來一月七日午後一時半より京城ホテルに於て新年名刺交換會を開催すべく二三の餘興ある由

●小松局長の忘年會

小松外事局長は局員を招待し本二十日午後六時より花月樓上に於て慰勞旁々忘年會を催す由

●鴨綠鐵橋通過人員

鴨綠江鐵橋の開設以來其橋上を往來する人員は一日平均四百名なりしが近時結氷の間際に於ては解船の止まりたると未た氷上を徒涉し得ざる等にて一日約千人の通過人員ありと

●滿鮮直通列車乘客

十九日午後八時三十分南大門發長春行滿鮮直通列車には內外人三名にて二十日〇時二十分長春發南大門着列車には內外人六名

●平壌大同江の結氷

大同江は結氷し船舶の航通杜絕せりと

公人私人

▲高崎齊(通信局技師)十九日入京[illegible]火へ
▲出田長喜(ハルビン領事館囑托)[illegible]尾へ
▲宗像十郎(技師)同釜山へ出發
▲朝倉伸次郎(滿鐵社員)同奉天へ
▲松田和太吉(陸軍少佐)同釜山へ

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客(十九日分)
乘車人員 七四八 降車人員 九二〇
乘車賃金 一、四〇一、四二〇

▲南大門驛荷扱高(十九日分)
發送貨物 九八 到着貨物 六九八
貨物賃金 一、三〇二、六七〇

▲龍山驛乘降客(十九日分)
乘車人員 二七八 降車人員 二二五
乘車賃金 二九〇、七八〇

▲龍山驛荷扱高(十九日分)
發送貨物 七 到着貨物 二〇八
貨物賃金 一〇一、一九〇

▲京城手形交換高▼

十二月二十日 金高 二二三、五二二、九七 枚數 [illegible]

▲治外法權▼

寺內總督も二十二日に當地へ歸任するソウだ、ソ[illegible]一寸心配になるのは總督府官吏の[illegible]の事だが、諸君は總督を停車場に[illegible]たゞき五歩下つて直立不動、最敬[illegible]出來る迄に陸軍禮式を覺込んだか[illegible]かね▲一体陸軍禮式は六ヶしいも[illegible]新兵などはコレを覺込むまでには[illegible]や四度は營倉へ這入るのだソウだ[illegible]各部長官とか勅任官とか云ふ人達[illegible]式で落第したとなつたらそれこそ[illegible]ひの種にならうではないか▲ソレ[illegible]らぬか、目下總督府の人達は陸軍[illegible]の稽古に日も之れ只ならずとの事[illegible]以て天下は無事太平と申すべしだ[illegible]茲に骨折りなは寺內總督一人であ[illegible]彼れは歸任の途次大坂と京都に於[illegible]で宴會を開き、大童大車輪で働[illegible]ザル、ソレで御用筋の云ふ所に因[illegible]總督今回の御馳走の目的は京坂資[illegible]に向かひ朝鮮放資の勸誘であつ[illegible]ソウだ▲御用筋の傳ふる所若し[illegible]とすれば、吾人半島民たる者は[illegible]勞に對して感謝せねばならぬ、[illegible]に考へねばならぬ事は內地資本[illegible]放資勸誘などは、荒井度支部長[illegible]原鮮銀總裁を使つても出來ぬと[illegible]▲尤も前記兩人に出來ぬと云ふ[illegible]國殖民地の例に倣ひ、此際朝鮮[illegible]を內地に措き、ソレに仕事をさ[illegible]ドウか、御大將の御出馬、其熱[illegible]賞むべきだが、例の調子でやつ[illegible]果は却つて懸念せらるるのであ[illegible]▲移輸入超過問題解決救治法の[illegible]て制增附農工債劵を發行するこ[illegible]筋がキオだとは眞乎、然らば當[illegible]山の石たる本紙の提言に聽いた[illegible]が、兎角は家貧ふして良妻を思[illegible]言我を欺かずだ。



●恩を仇なる人非人

▽淫婦みちと情夫吉谷

澤藏の妻とみは良人の容子の險しきを氣遣ひ一刻も早くみちを伴れ歸り謝罪らすに勝くはなしと自身みちを金本宅を訪れ其歸宅を促したれども後刻歸るとのみ言ひ張るに其上は奈何とも詮術なく悄々立戻りしを見るや澤藏は愈々怒り立ちみちの行李中より發見せし吉谷雄一と往復したる證據書類を懷中して歸宅するを待ち受け居しに夕刻に至り金本より電話にて貴下とみちとの關係は今日限り絕れたしとの事に澤藏は委細は面談すべし兎に角一應本人を伴れ來られたしと答へ置き正午頃仁川より來訪せし友人東生某と飮み續け居たるに午後七時頃に至りみちは金本正男同道にて歸宅し直ちに自己の部屋に入り金本は酒宴の席に通されしに澤藏はみちを金本に向ひ自分と手を切りたる後はみちを如何に處分するや當地に於て他人と結婚せしむる等の事はなきや若し有りとすれば相當の事を爲ねばならず何分みちが不都合の顚末は證據品あるが如何にやと疊みかけしに金本の言句に詰りしを見て然らばみちは實兄荒太郎に引渡すべし自分は斯の如き不貞腐女に必要なしなど罵る間に机の抽斗より鋏を取出し便所に行くとてみちの部屋に至りみちの髮毛を切り取らんとせしもみちが人殺しと悲鳴を揚げし爲め妻とみ其他の止むる所となり再び酒席に歸り八時頃迄飮續け居たるが早朝よりの飮酒に泥醉したる澤藏は嫉妬の念に堪わずやありけん再びみちの頭髮を切らんとしたるに驚き振り返りしみちの鬢の邊りに負傷せしめ其出血を見たる澤藏は直ちに南大門派出所に他人に負傷せしめたりと自首し出でたるより警官は取り敢へず同人を本署に引致し留置され翌十八日午前中みち諸共福田司法係の取調べの結果被害者に於て告訴の意志なきのみならず泥醉の上の加害も意志なき出來事なるを以て嚴重訓戒の上放還されたるが其際澤藏は旣に醉も醒め果て居りし事とて深く前非を悔ひみちの負傷療養は勿論一生扶養の義務を負ふべしと申立歸宅せしにみちは同人の扶養を受けず是非共吉谷と同棲し度旨を言張るより澤藏夫婦は早速吉谷の宅を訪ひ事情を打明けしに不法なる吉谷は面目なしとも思はず大に激昂の体度にて即刻引き取るべしと答へ澤藏夫婦は兎に角負傷の全癒する迄待ち呉れと嘆願同樣に話せしも無耻なる吉谷は弱身に付け込み即刻引渡すべしと迫るに止むなく一度歸宅の上十九日午後澤藏は仁川にみちの實兄荒太郎を訪問せしに病氣と稱し病室に案內されしが澤藏は一伍一什を物語り何共申譯もなしと謝罪の辭を述べしに荒太郎は突然立ち上り短刀拔き放して妹の爲ぞ切り付けたり（つゞく）

●雨催冬の夜の市（下）

（十八日午後八時）　夜叉若

新町入口に行つたのが八時十分前沿道一帶にうどんそばとか鯛燒とかの行燈が掛けられてゐる信那こそこゝで躑め而して一盃飮んだ勢ひで繰込む『貴郎今夜は何處で召上つたの』と云はれ…………ン『花月で』なんかと嘯ぶく奴の面が思ひ出される新町派出所と軒を聯べた猶太人か希臘人か丁抹人か波蘭人か羅張分らないが『カムイン』とか入らつしやいとか客を呼んで居た公賣か密賣か面白く思はれた井門支店は大分賑ふて部屋々々から思ひ〳〵の三味の音が縺れ合つて流れてゐる日曜樓に鮮人が二人素見かすと仲居が慌てゝ飛び出したが『ヨボ……』かと一聲迯げ込んだ皆春も大桝もヒッソリ閑としてゐる第一本店の格子先きでマトにインバの客を仲居が捉へて一時間でも三十分でもよ御座んすといふ言葉が漏れた大和新地の三枡屋とか云ふ家では小紋の羽織引掛けた島田が一人の男を遮二無二階に引し上げた胸が惡くなるので踵を返して新町病院上手の暗い松樹の下に辿り行きて憐れなる病める娼婦を覗くソレらしい影は見わぬが靜思心耳を澄ませば催眠屋さんの云ふ精神透視おや無いが生を呪ふ叫び苦境に泣く音樓主を怨むの聲故鄕を想ふの情と云つたものが立派に透視されるでは無いか如何に需要供給とは謂へ婦人の中心を以て生を營なまんとする人の心の淺間しさは言はずもあれ黃金の鎖に繫がれたる抵抗力なき婦人を弄ぶ男の面の憎さよ妻を空閨に泣かしめ親を故鄕に嘆かしめて尙且つ痛苦の件ふ一時的の快樂に醉はんとするのだッと奥村千里を想はずにはゐられなかつた、急廢した人達の行末を思ふては熱涙滂沱たるを禁ずる能はず顏を蔽ふて歸路を急いだ。

●無鑑札清人の逮捕

▽六連發ピストルを所持す

清國山東省登州府石島生れ林吉順（三一）は昨年八月二十八日溫陽郡邑內下里孫不俊方に滯在同國人于學林、吳玉章等と同宿中于、玉の二名がチーハーの胴親となり朝鮮人五名を相手に盛に賭を爲したるが遂に于玉等が朝鮮人五名に對し二百三十圓の負けとなりたるも兩人は已に懷中一文もなく支拂する能はざるより同宿の林吉順に縋り自分等チーハーに負けたるも支拂出來ざれば何とか方法を賴むと申込みたり聽て林は賭場に出張し朝鮮人に暴力を加へし爲め鮮人五名は逃走せんとせるを林は其後ろ姿を目がけてピストルを放ちたるに狃は外れて無關係なる趙錫云に命中し打倒れたるを見るや林は大に驚き忽ち姿を晦したり越へて本年十月安城附近に出沒し矢張りチーハーを業となし時に賭場の勝負未だ決せざる內揚錢二百餘圓を奪ひ逃走し京城紅葉小路支那人娼妓巧子（十八）に現を敉かし十八日仁川に來り支那町陽屋華昇堂方に入湯し居る事仁川署にて探知し小池石山武の熊石野の四巡查が出張し沐浴中難なく取押へたり尙彼が脫衣の下にはピストルに彈丸六發詰込みあり尙彈丸十三發と現金百七十五圓を所持し居りたり然るに四巡查は危險を免れ難なく逮捕したるは僥倖なりき彼は元威海衛に於て散々の惡事を働きたる曲者にて最も其筋の注意人物なりしと云ふ因に昨年中忠淸南道に於て鮮人館金龍を殺害せしも彼の所爲ならんとの疑ひあり目下仁川署にて嚴重取調中

社告

稿の御寄贈に候其玉稿の論文

鳥兎匆々愈極月と相成本紙新年號準備の期も愈相近かづき申候就て本紙が此際愛讀各位に御願致度は本紙新年號に掲載すべき各位玉稿の御寄贈に候其玉稿の論文たると將た美文たると詩、歌、俳句情歌端歌たるとは各位の御隨意にして本紙は硬軟何れをも歡迎仕候

新年畫附錄

本紙新年畫附錄は本紙が特に邦畫の大家川端玉章翁に依囑して成りたる勅題松上鶴の祝畫にして其高尙優美なるは贅言を要せずと被信候

十二月　京城新報社

●行路病者收容所へれかちん料

▽長唄嗜好會員より

過日當地壽座に於いて納會を開いた長唄嗜好會にては同日の會員、有志の會費寄贈金中より諸經費を引去りたる殘高金十圓也を淸華亭の三太、きくや文之助花月樓の勝利三元老の名を以て行路病者收容所にれかちん料として寄附したしとて其手續方を本社に依囑したるより本社は十九日中古城民長の手を經て寄附手續を了した、民長曰く『奇特の事で何程か病者が喜ぶ事でしよう、イヤ斯うして取扱ふだけの僕までが嬉しく感ずる位だ』、と異に喜んで居られた、有る所の金が無い所へ廻る即ち景氣が好いと云ふ事だ、長唄嗜好會の納會があつた丈けで行路病者は景氣の好い正月を迎へる事が出來るのだ、縱令其金額は僅かでも僞らざる衒はざる厚い同情に出たる此金に依つて調へられたる物は直ちに血となり肉となりて彼の不幸なる人の心に大なる幸を齎す事であうと信ずる（△生）

●食たのは河豚の臟腑

▽『仁政下に此窮民』後報

去る十七日の紙上に『仁政下に此窮民』と題し報道せし銅峴分署管內南部往十里陽地洞四統八戶裵貴得（五五）一家八人の家族ありて生計困難なる爲め他人の投棄したる魚類の臟腑其他を食せし爲め中毒し二名即死し五名は危篤にて死に瀕せんとしつゝあり銅峴分署より警察醫同行應急手當中なりし事は旣報の如くなるが其の後一名死亡し殘る四名は全快の見込あり警察署より施料服藥しつゝあるが該投棄物は倭城臺の下本願寺附近の或る家の塵箱に投棄しありし河豚の臟腑なりし事判明せりと然るに玆に感心なるは當日の新聞記事を見たる掬翠樓の輝子（二六）は不憫に思ひ客より貰ひ溜めし纒頭中の幾分を惠贈し度けれども手續不明なるより山口本社員に其手續を賴み白米一斗五升を銅峴分署の手を經て惠贈したるが感ずべき心掛けにこそ

●催促されて刃物騷

▽譯もなき加減を御覽

本籍佐賀縣沖郡東宅別府百十五番地當時龍山老松町百十九番戶松本利一（ご）と云ふは同地藤田組の配下の者なるが不素同人は酒癖惡しく共爲龍山署にては注意人物視し居りたる處去る十八日には晝間より桃山遊廓東京樓に登樓して數人の藝妓を呼び大陽氣に遊興したる揚句其代金十三圓餘を樓主より請求せられたりとて怒り自宅より仕込杖を持來り矢庭に之を振り廻はして樓主を威嚇する暴狀に急報により龍山署より島田中嶋の兩巡査直ちに出張取鎭め拘引の上安寧秩序を害するの所爲により拘留五日に處せられたり危險なる人物なるかな因に同人は先日中內緣の妻れ安に逃走せられ其中桃山樓の仲居れ何を雇入れ置きたるに妻れ安は戾り來りて是の狀況を見て前記仲居のれ何を物をも云はず棍棒にて毆打し警察署の

花柳界歲末觀　掬翠樓

次は此世界で本年の不景氣を引受けて居たと思はれた掬翠樓

▲樓主非坂曰　私が表面立つて稼業し始めましたのは御承知の通りツイ過日からの事ですが聞きますに本年は京城開闢以來の不景氣だ相です、就中私の樓は不景氣も不景氣一日一人もお客樣の無い事すら御座いましたが十月中旬から營業方針を替へた以來お蔭樣と繁昌致して居りますが此は景氣が好いからの繁昌とは違ひます集金は仲居のお榮一人ですから行屆き兼ねますがお客樣方が善しいので掛倒れなぞは御座いません云々

▲同家靜子曰　昨年の暮は御承知の大和町に圍はれて居ましたのでお正月の準備に多少心配しましたが今年の暮は彼事あつて再度の勤めも掬翠が以前と違つた勉強にお客樣が多いから自然頂戴物も多いから小遣錢には不自由はありません、無心、無心なぞする旦那がある位なら不景氣とは申しません

▲同家輝子曰　妾は今年六月來たばかりですもの例年の事は知りませんが隨分不景氣でしたね、昨年の暮は東京蠣殼町で堅氣ながら威勢の好い春を迎へました其年の暮を此の朝鮮で加かもお茶屋の抱妓で不景氣なりし四十四年を餘り上等でない景氣で送らうとはお釋迦樣でも御存じなかつたらうと思ひますよ、何にしろ本人の妾さへ思ひも寄らなかつたんですものね、無心の利く樣な旦那なぞなし又有つたにしても恥かしくつて云へるものですかね

厄介になりて事濟みたる事などあつて家中の亂痴氣に加ふるに自身の不行績深く省みる處ありて可なり

●懇意だから盜む

本籍福岡縣三瀦郡木佐村蛭池古賀茂太郎（二一）は本年八月龍山鐵道工場に雇はれ居りたるが放蕩の爲解雇せられたる後は所々徘徊しつゝありたるに本月三日前記工場に懇意なる龍山淸水町四十五番地松永某の宅に至りオーバーコート代價二十六圓を初めとして毛布帽子等を家人の隙に乘じて橫領窃取して之を桃山國武質店に入質して桃山遊廓桃山樓に登樓費消したる事龍山署の曾根崎巡查東町巡回中擧動不審として訊問の結果前記の次第と判り此程龍山署に引致されたり

●京城救會の降誕祭

南大門內相生町京城基督敎會にては來る二十四日午前十時半よりクリスマス禮拜同日午後六時より降誕祭祝賀會を開く由

●少々不足した男

山口縣玖珂郡柳井町四〇五番戶當時南大門通り三丁目中山秀一（三五）は十七日午後八時半頃自宅前街路に雇人某が火を焚き居たるを鍾峴分署詰巡查補が認め危險なるに付消す可きを命じたるにヨボ巡查生意氣なりと暴言を吐きたるより本署に引致されたり

れ分署長より御目玉頂戴の上放還さる

●仁川の行路病者

原籍廣島縣沼隈郡東村平民吹杵忠三郎（二二）は去十月龍山より仁川花房町一丁目三番地津田金二郎方に來り雇はれ居る中間もなく脚氣に罹り重体に陷りたるも親戚知人等なく療養の途なきより十八日行路病者として仁川病院分院に收容せり

●子供が無い沖自殺

南部明禮坊銅峴五十一統十三戶韓錫婦妻文姓女（四一）は子供の無きより世を悲觀し居たる由なるも十九日午後二時自宅溫突內に於てニガリ一合五勺を飮み自殺したりと

●諸公債諸株券 現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
兼業 諸官衙御用達 既製洋服御小賣
京城本町三丁目
大坂野村德七代理店
田中友吉商店 (電話九九一 電略(タ))

廣告
來ル明治四十五年一月一日新年祝賀ノ爲メ名刺交換會ヲ開催シ往答ノ禮ニ代ヘントス御賛同ノ諸彥ハ會費金五拾錢ヲ添ヘ京城居留民團役所內ニ申込マレ度シ
一、會場 京城居留民團立高等女學校
一、日時 明治四十五年一月一日正午
一、申込期限 明治四十四年十二月二十五日正午迄
明治四十四年十二月十五日

名刺交換會發起人 (イロハ順)
市原盛宏 池田十三郎 塩山熙 趙重應 大屋權平 岡野遂光 吉村太左衛門 竹山純平 中山勝之助 宇佐美勝夫 久能省三 藤田嗣章 小松緑 國分象太郎 明石元二郎 足立瀧二郎 菊池武一 柴垣勝三郎 檜直右
市川堅太郎 朴泳孝 趙鎭泰 大庭寬一 渡邊暢 俵孫一 中村竹藏 宇佐川一正 倉富勇三郎 松寺竹雄 深水清 國分象太郎 古城菅堂 淺野長七 佐峯直岸 城繁太郎 鈴木穆

會席御料理
忘年宴會は〔…〕
梅乃家

淺田飴
肺病より起るだんせき
咽喉をはらし聲を發せしむ
病後のよはり
貧血性諸病
本舖 東京大段堀內
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八六番

廣島名産
かき料理
並にかきめし
例年の通り産地廣島より取寄せ御安値にて御料理致候出前之儀は電話にて御注文被下候へば不拘多少早速持參可仕候
京城永樂町赤門入口
いくよ
電話一〇九二番

二十世紀の新劑
最良新藥
毎月丸
▲月經をつうじ 子宮病を全治す
月經不順
月經閉止三四ヶ月の滯りを通じ其他月經不順より起る子宮病血の道、頭痛、食物進まず、氣分鬱ぎ、逆上強く等の病を根治し、血のめぐりを能くす
藥價 一日八錢半 一週五十錢 二週分壹圓 三週分壹圓四十錢
常に月經異動ある人持藥とせば毒血を下し子宮病に罹る憂ひ更になき良劑也
本舖 大阪心齋橋一丁目 丹平商會本店
支舖 東京日本橋酒屋町 丹平商會支店
▲賣捌は東京市內其他各店に取次す
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八六番

本年二限リ
聯合賣出しに加盟せず
十二月三十一日迄
弊店獨得抽籤割引
大賣出し
貳割引より色々
是非共乞御來店
京城明治町一丁目
唐川吳服店
電話二六一番

新築落成廣告
各位愈御清穆奉賀候陳ば弊館儀四方御客樣方の御引立を蒙り以御蔭日に隆盛に赴き候段奉拜謝候隨て客室狹隘を感し今夏以來新築中に御座候處愈四階建落成仕候位置は市の中央にて御便利に有之客室閑雅にして眺望絕佳且各客室の設備も完全に致し多數の御來客樣に有之共御差支無き樣設備致候御待遇并に料理等には充分注意を加へ一層勉强仕候間倍舊の御引立を蒙り度伏て奉懇願候 拜具
京城南山町四丁目
原金旅館
電話長一一一五番

支店設置御披露
從來明治町一丁目に於て營業罷在候處店舖狹隘之爲めメリヤスタオル木綿其他糸製品雜貨等當支店に於て營業仕候間多少に拘らず御用命之程願上候
◎文房具學校用品其他凡百の雜貨は從來の通り明治町本店に於て取扱申候
▲メリヤス類▲手袋▲靴下▲糸製品各種
▲タヲル▲毛布▲其他雜貨
京城本町四丁目
小林民次郎支店
電話一七二六番

歲暮大賣出し
正札より二割引
洋雜貨 文房具 商 泉屋
京城南大門通三丁目銅峴
甲田洋品店
電話七一七番

商標
えん熱おこりマラリや熱風邪つの良劑
キナエン丸
二包入 五戔 五包入 十戔 十包入 廿戔 十五包入 卅戔 廿包入 五十戔
本舖 大阪四ツ橋 本林丁子堂
(ヘキナエン丸は全國到る處の藥店に取次有御求の節は丁子の商標に御注意を乞ふ)
代理店 京城南大門通三丁目電話九〇四番一〇六八振替口座朝鮮十六番 新井藥房

歲末歲始贈答品は電話三八〇番

贈答用として最好適品は何?
十九年以前より今日あるを豫期し
清酒界無防腐劑の先驅なる
色香味三絕の美酒
銀釜半樽及壜詰(一升、五升、三升、二升、五合)の各種
滿鮮特約店は
京城本町一
三巴商會
電話七五三番
殊に弊會發行の酒券は本支店共通にして至極御便利に有之候
支店 安東縣 平壤
大田 龍山



すゞ津祢
弦齋流割烹
南山町一丁目
電話千五百二番

くだりびやう一切の特効藥
健胃固腸丸
主治 ●赤痢病●コレラ病●腸胃加答兒等に用ゐて實効速なり ●常に貯へ置き朝夕五粒づゝ服用せば腸胃の衰弱を治し食物の消化を能くす
本劑は全國到る所の賣藥店に取次販賣致せり 御求の節は商標と谷回春堂の御注意を乞ふ
本舖 大阪市東區伏見町 堺筋角 谷回春堂 (電話東四五八番)(振替貯金番號八三〇)
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八六番

飲めば氣持よくなる
消化と〔…〕
仁丹 JINTAN
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八六番

英國セフヒールド市 シーボムアンドディキスタル 製鋼會社特約品
鑛山用 地球鷲印八角鋼
道具用 同 角磨鋼
職工用 同 鑄各種
右は朝鮮一手販賣罷在候處滿鮮地の材料として最も適當の爲め至極好評を博し價格亦內地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候
京城本町五丁目
和洋金物商
釘本藤次郎本店
(電話四五番)電信略號「ク」振替貯金口座京城二五六番

◎夜間診察は九時迄とす
◎肺結核及結核性疾患の最新注射は實費診療す
△六〇六號注射需に應す
仁川病院
電話十六番



歐米各國自轉車各種
ヴイクター會社蓄音機械
銀製品各種
直輸入元
京城本町四丁目 織居本店
時計貴金屬眼鏡寫眞材料
振替貯金口座
三丁目 織居自轉車部 電話(四八〇)

最上醬油
商
釀造元
仁川港萬石町
高杉醬油釀造場
電話七六五番

齒科治療
本町六丁目(親そば横町)
ドクトル
女子齒科醫學校卒業
中村安子
(電話一五八三)

元祖
食パン
菓子パンアンパン各種
總督府各官衙御用
陸軍御用
京城本町二丁目
製造御小賣商
相川兄弟商會
(電話一八九番)
釜山富平町一丁目
相川兄弟商會支店
(電話一七六番)

牛馬大猫 治療所
入院隨意
京城明治町三丁目
院長 小川龜太郎
小川家畜醫院
(電話四二七番)

目藥

かいしゆん
回春
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八六番

薄口醬油
特約販賣 仁川京城 高雄支店

東京流納豆大安賣

特製 寶味噌
御料理向
味噌製造 漬物問屋
仁川本町三丁目
たからや
電話七三七番

大坂瓦斯コークス並に器具一式
國定教科書 文房具販賣
仁川新町二丁目
百崎金港堂
電話五百八番

キ
三省丸 大蔵丸 盛數丸 安永丸 三省丸
十二月 郵便船出帆
舊島行 十二月廿一日前八時
海州行 十二月廿一日前二時
海州行 十二月廿一日前七時
大湖芝行 十二月 日前 時
荷客取扱所
仁川本町四丁目 合資會社 秋田商會船舶部 電話一七三番
仁川本町一丁目 秋田商會 電話七五〇番
仁川本町海岸通 船舶荷扱 電話四一九番
仁川本町四丁目 柴田回漕店 電話五二二番
出本回漕店